



施策 1

生涯にわたる心身両面の健康づくりを支援します

健康で心豊かな生活を送る上で、生涯にわたり健康づくりを実践することは重要な要素です。健康でいきいきとした生活を送るために、歯や口の機能を維持し、食生活や運動の実践などの生活習慣の改善に向け、区民の皆さまの意識向上と情報発信に取り組みます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
健康づくり事業の参加者数	902人	1,200人

◆ 施策を推進する事業

地域における健康づくりの普及啓発 ・ 地域において保健環境委員と協働し フレイル予防リーダーを講師とした フレイル予防教室など健康づくりに関する教室の実施		将ビ 予算	保健予防課
取組内容 (令和6年度)	・ 地域において、保健環境委員と協働し、フレイル予防リーダー（福祉会館等で必要な講座を受講した方）を講師として活用しながら、フレイル予防教室を開催します。	実施予定 フレイル予防教室 9回（180人）	
実績 (令和5年度)	・ フレイル予防教室 7学区10回217人 ・ 地域での健康づくり教室 12回159人 （いきいき教室（出張型）、ママロコモ予防教室（出張型）、健康づくり教室）		

地域の企業等と連携した健康づくり		将ビ	予算	保健予防課
取組内容 (令和6年度)	・スポーツの要素を取り入れた健康づくり 名古屋市教育スポーツ協会と協働し、安心・安全・快適なまちづくりフェスタにおけるブース出展や中スポーツセンターでの健康づくり教室の実施により、スポーツを通じた区民の健康づくりを支援します。 フェスタでの啓発ブース出展 1回(200人) 中スポーツセンターでの健康づくり教室 2回(2日コース×1回) (延40人) ・出張健康相談の実施 区内企業等と連携し、店舗の一角等のスペースで出張健康相談を開催し、自分にあった健康づくりを始めるきっかけとします。 実施予定 3回(120人)			
実績 (令和5年度)	・フェスタへの啓発ブース出展 1回200人 ・名古屋市教育スポーツ協会との筋トレ教室 2回18人 ・区内企業等と連携した出張健康相談 5回172人			

子育て中の保護者が参加しやすい健康教室の実施		将ビ	予算	保健予防課
取組内容 (令和6年度)	子育て中の保護者を対象とした健康づくり教室に託児スタッフを配置し、受講者が講話や実習に集中して参加できる体制を整えた産後の健康づくり教室を開催し、ロコモティブシンドロームの予防及び乳がん予防について知識の普及・啓発を図ります。 実施予定 6回(2日コース×3回) (120人)			
実績 (令和5年度)	子育てママの健康づくり教室 6回(2日コース×3回) 136人			



施策 2

障害者が自立して安心して暮らせるよう支援します

障害者が必要とする情報を提供するとともに、区民の障害に対する理解を深め、地域で自立して安心して暮らせるよう支援します。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
ホームヘルプサービスを利用して地域で生活する障害者の数	304人	460人

◆施策を推進する事業

「中区障害福祉サービスガイドブック」の作成 ・ご自身で事業所を選択できるよう事業所情報を掲載したガイドブックを事業者や団体と協働し作成		福祉課
取組内容 (令和6年度)	「中区障害福祉サービスガイドブック」を作成し、障害福祉サービスを提供する事業所の情報を掲載することによって、生活状況や希望に合わせて自主的に事業所を選択できるよう支援します。	
実績 (令和5年度)	・1,000部発行（令和6年2月） ・区ウェブサイトへ掲載（令和6年3月）	

授産製品の普及・販売促進		福祉課
取組内容 (令和6年度)	障害のある方が作られた製品(授産製品)を販売する「なかよしマーケット」を中区役所庁舎内で開催し、授産製品の普及・販売促進に努めます。	
実績 (令和5年度)	・24回実施、7事業所（延べ60事業所）参加 中区役所庁舎内での販売について一度も中止せず開催 ・11月13日に宗次ホールで開催したハートフルコンサートにおいても出店	

地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制 整備事業の推進【再掲：施策3】		将ビ 新規 重点	中区社会福祉協議会 福祉課 民生子ども課 保健予防課 その他関係各課
取組内容 (令和6年度)	施策3に同じ		
実績 (令和5年度)	施策3に同じ		



施策 3

高齢者が個々の状況に応じて地域で自分らしく安心して暮らせるよう支援します

認知症予防をはじめとした介護予防の取組みの充実をはかるとともに、高齢者が抱える課題に応じた必要な支援を受けながら、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう支援します。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
中区いきいき支援センターの認知度	41.4%	50%

◆施策を推進する事業

地域包括ケアシステムの普及啓発		福祉課 保健予防課 いきいき支援センター 中区社会福祉協議会
取組内容 (令和6年度)	医療や介護、生活の支援などが必要となっても、可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域全体で支える「地域包括ケアシステム」の普及啓発を実施するとともに、将来への備えを考えていただくきっかけづくりを進めます。 - 介護まつりinなか2024の開催 区民に対し、高齢者の介護サービスや介護予防、在宅療養、認知症やその予防、高齢者の地域活動に関する普及啓発を目的としたイベントを開催します。 11月23日（土）開催予定 参加者目標：1,000人（延べ） - いきいき支援センターの周知 高齢者の困りごとの相談先であるいきいき支援センターについて、チラシやPR動画、お薬手帳シール等を活用して周知し、認知度の向上を図ります。 「認知症にやさしいまち大須プロジェクト」の実施 （いきいき支援センター） 大須地区において、学区、商店街、行政等が協働して、はいかい高齢者おかえり支援等認知症に係る事業を実施します。 - 認知症市民講演会の開催 （保健センター、いきいき支援センター） 認知症の早期発見や認知症の方への対応など、認知症の正しい知識を学ぶための講演会を実施します。 - 認知症バリアフリーの推進（いきいき支援センター） 認知症になっても、住み慣れた地域で普通に暮らし続けていくため、「まちぶらオレンジマップ」の普及を進め、買い物や移動、趣味活動などの地域での様々な場面での外出や交流の障壁を減らしていく取組みを推進します。	将ビ 拡充

**取組内容
(令和6年度)**

- ・サロン活動の充実（区社会福祉協議会）
高齢者をはじめとした地域住民の閉じこもり予防や交流を目的とするふれあい・いきいきサロンの開設及び活動支援、また運営者のスキルアップや新たな参加者の拡大に向けた周知・啓発を行います。
- ・地域支えあい事業の実施（区社会福祉協議会）
支援を必要とする高齢者等のちょっとした困りごとを、地域住民の支援により解決する地域支えあい事業の周知・啓発及び実施学区の拡大や円滑な取組みを支援します。
- ・在宅医療と介護についての普及啓発の実施
- ・介護予防に係る事業の実施（別掲）

**実績
(令和5年度)**

- 介護まつりinなか2023の開催
11月23日（木・祝）中区役所（6階大会議室・3階保健センター検診フロア・中区役所地下ホール）にて開催、参加者延べ885人
- いきいき支援センターの周知
 - ・広報なごや中区版に掲載
 - ・地域包括ケアシステムガイドブックの配布
 - ・PR動画の区内医療機関での放映
 - ・お薬手帳シールの配布
 - ・行政情報モニターでの放映
- 「認知症にやさしいまち大須プロジェクト」の実施
 - ・学区、商店街、関係団体等によるプロジェクトワーキンググループの開催(5月29日、1月22日)
 - ・大須プロジェクト通信の発行(7月、2月)
 - ・はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練の実施(7月6日 40人参加)
 - ・世界アルツハイマーデーに合わせた普及啓発(9月21日 70人参加)
- ※RUN伴+及び中部電力MIRAI TOWERでの当事者作品展示、ライトアップ(市と連携)
- ・大須学区グラウンドゴルフ大会での認知症理解促進イベントの開催(11月11日 70人参加)
- 認知症市民講演会の開催（1月31日）
- 認知症バリアフリーの推進（まちぶらオレンジマップの普及）
 - ・介護保険制度パンフレットと併せての配布、いきいき支援センター公式LINEアカウントでの周知 等
 - ・登録事業者数：132か所
- サロン活動：サロン活動者研修の開催（7月7日、1月30日）、実践者のつどいの開催（9月11日、3月19日）
- 地域支えあい事業：5学区（大須、松原、橘、平和、正木）の各コミュニティセンター等を相談窓口として実施。お困りごとへのお助け活動（生活支援等）を実施する登録ボランティアの拡充に向けた働きかけ等も実施。
- 専門職や民生委員等が福祉課題を抱えた方への支援に活用していただくための冊子「生活支援サービスガイドブック」を配布
- 在宅医療と介護についての普及啓発の実施

高齢者世帯への支援 ・ 民生委員、高齢者福祉相談員や見守り支援員等による訪問活動、一人暮らし高齢者へのあんしん情報キットの配付など 将ビ 重点	福祉課 いきいき支援センター
取組内容 (令和 6 年度)	・ ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の実態を把握し、高齢者福祉相談員による訪問、いきいき支援センターによる見守り支援事業の実施、民生委員による訪問など、多様な主体による見守り活動を実施します。また、区内の病院や見守り活動を行う地域住民、関係機関の連携を深め、孤立した入院患者の退院後の支援に努めます。 ・ 民生委員や居宅介護支援事業所等の関係機関と情報共有を図り、高齢者虐待の発生予防・早期発見に努めます。また、ケース会議において対応を協議し、適切な支援に結び付け、再発防止に努めます。 ・ 地域や関係機関、新聞販売店、ライフライン事業者、住宅管理事業者等と情報共有を図るとともに、連携して対策を検討し、高齢者の孤立化や孤立死の防止に努めます。 ・ ひとり暮らし高齢者などの救急搬送等の緊急時に、救急隊や病院が必要な情報を得られるよう、かかりつけ医や緊急連絡先などをあらかじめ記載して保管しておく「あんしん情報キット」を配付します。 ①ケース会議 随時 ②虐待等連絡会議 年4回開催予定 ③中区地域支援ネットワーク運営協議会 年2回開催予定 ④中区地域支援ネットワーク運営協議会実務者会議 年1回開催予定 ⑤あんしん情報キットの配付 1,000個
実績 (令和 5 年度)	・ ケース会議 随時開催 ・ 虐待等連絡会議 4回開催 ・ 高齢者福祉相談員による訪問活動 4,443回 ・ 見守り支援員による訪問活動 285回 ・ 中区地域支援ネットワーク運営協議会 2回開催 ・ 中区地域支援ネットワーク運営協議会実務者会議 1回開催 ・ あんしん情報キットの配付 約2,950個（説明用資料500個含む）

地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制 整備事業の推進 将ビ 新規 重点		中区社会福祉協議会 福祉課 民生子ども課 保健予防課 その他関係各課
取組内容 (令和 6 年度)	包括的相談支援チームを設置し、複合的な課題を抱え支援が必要な世帯に対して属性や世代を問わない相談体制の構築を図るとともに支援の受け皿となるしくみづくりを進めます。 ・参加支援拠点の開所 ・中区連携会議 年2回開催予定 ・中区重層的支援会議 年3回開催予定	
実績 (令和 5 年度)	—	

認知症サポーターの養成講座の開催 将ビ 拡充		いきいき支援センター 福祉課
取組内容 (令和 6 年度)	認知症に対する正しい知識を持ち、地域で認知症の方やその家族に対してできる範囲で手助けする認知症サポーターの養成講座を開催します。またチームオレンジを開設し、認知症サポーターの具体的な活動への参加支援にむけて既受講者に対して交流会やステップアップ講座を実施します。 認知症サポーター養成講座 900人受講	
実績 (令和 5 年度)	認知症サポーター養成講座 660人受講 認知症サポーターフォローアップ講座 11月5日開催 認知症サポーター交流会 7月15日・12月2日開催	

サロン等での介護予防についての支援		将ビ 予算	保健予防課
取組内容 (令和 6 年度)	・高齢者の体力や孤立感の改善に向けて、地域役員等と連携し、サロン等へ専門職を派遣する地域サロン等活動支援事業を積極的に開催し、高齢者の体力回復や社会参加を促進します。 実施目標 45か所90回 (対象：シニアお出かけ情報マップ掲載の高齢者サロン・認知症カフェや老人クラブ・給食会等のうち希望するところ) ・サロン実践者のつどい 高齢者サロン等の主催者を対象に、健康管理等の講話を行うことにより、主催者が安心・安全にサロン運営ができるよう支援します。 実施目標 1回 (20人) ・ICTを活用した健康づくり事業の実施 著名な講師による講演会を実施し外出促進や健康づくりの機会を設けるとともに、スマートフォン等の操作方法を案内することで、高齢者が新しい媒体を利用するきっかけづくりとします。 実施目標 講演会開催 1回 (250人)		
実績 (令和 5 年度)	・地域サロン等支援 33か所67回 ・サロン実践者のつどい 2回75人 ・介護まつりinなか2023における講演会の開催 参加者約85人 ・介護まつりinなか2023における「フレポ&見守りアプリ」体験コーナーの設置 新規登録者11人		

シニアお出かけ情報マップによる情報の発信		将ビ	保健予防課
取組内容 (令和 6 年度)	既存のマップの情報を更新し、市民へ配布し情報発信します。併せて、市ウェブサイトからもマップをダウンロード可能にし、情報を手軽に入手し活用できるよう周知します。配布目標 1,000部		
実績 (令和 5 年度)	シニアお出かけ情報マップの配布 940部		

なごやかクラブなかの活動への支援		重点	福祉課
取組内容 (令和 6 年度)	なごやかクラブなか（老人クラブ）の活動を支援するとともに、魅力や活動を広く周知し、加入を呼びかけます。 <u>安心・安全・快適なまちづくりフェスタ2024のなごやかクラブなかブースへの参加者数：300人（延べ）</u>		
実績 (令和 5 年度)	・広報なごや中区版への掲載 ・シニアお出かけマップへの掲載 ・行政情報モニターへの掲載 ・安心・安全・快適なまちづくりフェスタ2023にブースを出展 参加者数：250人（延べ） ・広報チラシを各種イベントで配布 ・広報誌「なかよし便り」を発行し、各学区へ配布		



施策 4

誰もが意欲を持って働けるよう、就労支援をすすめます

生活保護受給者に対して就労支援をすすめ、自立の促進をはかります。またホームレス等が自立した生活に移行できるよう、生活相談や健康相談などの支援を行います。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
就労支援コーナーを利用し求職活動を行う生活保護受給者の就労開始率	49.6%	55%

◆施策を推進する事業

就労支援に関する自立支援プログラム推進事業 ・区役所に設置された就労支援コーナーを活用した支援の実施		将ビ	民生子ども課
取組内容 (令和6年度)	生活保護受給者等生活困窮者の早期の就労と自立のため、公共職業安定所との連携により区役所内に設置されている就労支援コーナーを活用し、きめ細かい就労支援を行います。 目標：求職活動を行う生活保護受給者の就労開始率 55.0%		
実績 (令和5年度)	求職活動を行う生活保護受給者の就労開始率 49.6% ・就労支援コーナーの利用率：60.1% (支援者数208人のうち125人が利用)		

ホームレス等の自立支援		将ビ	民生子ども課
取組内容 (令和6年度)	ホームレス等が自立した生活に移行できるように関係公所と連携し、生活や健康に関する相談のための巡回訪問を実施することにより福祉施策の利用を支援します。		
実績 (令和5年度)	窓口相談件数 1,258件 巡回相談件数 1,350件		



施策 5

生涯にわたる学びやスポーツを通じた生きがいをづくりを支援します

第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会に向けた機運が高まるなか、区民の皆さまがスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ大会などを地域や団体、学校などと連携して開催します。また、文化関連事業の開催や、生涯を通して学んだ知識や成果などを活かせるよう、学習機会や情報の提供につとめます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
スポーツ・文化行事への参加者・来場者数	3,153人	4,600人

◆施策を推進する事業

スポーツ大会やウォーキングイベントなどの開催		将ビ 予算	地域力推進課
取組内容 (令和6年度)	区民が気軽に参加できる、各種スポーツ大会を開催し、スポーツを通じた生きがいをづくりを支援します。 ・女性レクバレー春季大会：4月11日・17日開催予定 ・ふれあいハイキング：4月21日開催予定 ・グラウンド・ゴルフ大会：5月12日開催予定 ・ソフトテニス大会：6月15日開催予定 ・職域剣道大会：6月9日開催予定 ・OB野球区長杯争奪戦：秋季開催予定 ・ソフトボール大会：秋季開催予定 ・女性レクバレー秋季大会：11月7日・13日開催予定 ・バドミントン大会：11月23日開催予定 ・なごやかウォーク：11月開催予定 ・グラウンド・ゴルフ協会大会：11月17日開催予定 ・OB野球会長杯：令和7年2月～3月開催予定 ・卓球大会：令和7年3月15日開催予定 ・クアオルト@健康ウォーキング：順次開催予定		
実績 (令和5年度)	各種スポーツ大会等の参加者 1,237人		

生涯スポーツの普及に向けた啓発事業		将ビ	予算	地域力推進課
取組内容 (令和6年度)	生涯スポーツの普及に向けた区全体の底上げ、意識向上のため、誰もが気軽に参加できて、安心・安全に楽しめるスポーツの普及啓発を実施します。 目標：スポーツ普及啓発事業の参加者数 100人			
実績 (令和5年度)	ウォーキングマップの更新を実施			

文化関連展覧会や文化行事などの開催		将ビ	予算	地域力推進課
取組内容 (令和6年度)	・区民美術展の開催 区民の創作発表の場として、市民ギャラリー栄で区民美術展を開催します。(10月15日(火)～17日(木)開催予定) ・ナカク・デザインプロジェクト2024の開催 デザイン分野で活動する若者の創作発表の場として、「ナカク・デザインプロジェクト2024」を開催します。 4月16日(火)～18日(木)開催予定 ・文化関連事業の開催 地域文化振興のために区内各種団体と連携し展覧会を開催します。 目標：文化関連展覧会や文化行事などの出展者及び来場者数2,450人			
実績 (令和5年度)	文化関連展覧会や文化行事などの出展者及び来場者数 1,916人			



施策 6

人権が尊重され差別や偏見がない社会をつくります

一人ひとりの人権が尊重された、平和で豊かな地域社会を実現できるよう、人権尊重の理念や重要性についての認識を深め、人権啓発を推進します。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
人権関連事業の参加者数	488人	500人

◆施策を推進する事業

人権尊重のまちづくり事業 ・人権に対する理解を目的とする啓発事業を実施		将ビ	地域力推進課
取組内容 (令和6年度)	人権尊重の理念を普及し、区民の人権に対する理解を深めることを目的とする啓発事業を実施します。		
実績 (令和5年度)	安心・安全・快適なまちづくりフェスタにおいて、「eスポーツ」を体験するブースを出展		

男女平等参画推進事業 ・家庭・地域における男女平等参画を進めることを目的とする啓発事業を実施		将ビ	地域力推進課
取組内容 (令和6年度)	男女がともにその能力と個性を発揮できる男女共同参画社会を目指すため、区独自の事業を実施することにより、地域において効果的に男女平等参画を推進します。		
実績 (令和5年度)	家族みんなで災害があった際、どのようにして健康を維持していくか「食」の観点から災害時の対応や備えについて考える「親子防災教室！～まさかに備える防災食～」を実施		

多文化共生関連事業【再掲：施策7】		将ビ	予算	拡充	地域力推進課
取組内容 (令和6年度)	施策7に同じ				
実績 (令和5年度)	施策7に同じ				

施策 7



多文化共生をすすめます

区民の約 1 割が外国人である中区において、すべての区民が互いの文化や考え方を認め合い、同じ中区民として安心・安全に暮らせる多文化共生のまちづくりをすすめます。

指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
多文化共生推進関連事業の参加者数	246人	350人

◆ 施策を推進する事業

多文化共生関連事業 ・「中区多文化共生に係る推進指針」による 区横断的な取組みを推進		地域力推進課
取組内容 (令和 6 年度)	将ビ 予算 拡充 ・外国人が困ったときにすぐ頼れる中区役所を目指して、区役所内に外国人総合案内（コンシェルジュ）を設置し、外国人住民への窓口案内、通訳体制を強化するとともに、多言語での情報発信を行います。 ・多文化共生推進講演会を開催します。 ・中区多文化共生推進交流ワークショップを開催します。 ・安心・安全・快適なまちづくりフェスタに多文化共生推進ブースを出展します。 ・中区の多文化共生に必要な取組みを整理した「中区多文化共生に係る推進指針2026」を踏まえ、区横断的な施策推進を図ります。 ・外国人のライフステージ支援に向けた取組みを進めます。 目標：多文化共生推進に関する事業への参加者数 350人	
	実績 (令和 5 年度)	多文化共生推進に関する事業への参加者 246人

多言語ややさしい日本語での情報提供・情報発信		将ビ	予算	地域力推進課 市民課
取組内容 (令和6年度)	・中区に関する防災情報やごみの出し方などの外国人区民の生活に必要な情報、中区の歴史・文化や見どころ等を紹介する多言語パンフレット（英語・中国語・フィリピン語・ハングル・ベトナム語・ネパール語・やさしい日本語）を配布します。 ・転入時に中区での生活に役立つ情報一覧を多言語で配布します。 ・多言語情報コーナーにて、中区の生活情報やイベントなど外国人に対する情報提供をすすめます。 ・外国人区民に向けた情報発信として、やさしい日本語によるX（旧Twitter）や母語（中国語・フィリピン語・ベトナム語・ネパール語）によるFacebookページを運用します。 目標：多文化共生推進に関する事業への参加者数 350人(再掲) ・「外国人向け入学案内」(8言語対応)を小学校・中学校の就学対象児童を有する外国人世帯が住所異動などで来庁されたときに配布します。また、庁舎内に掲示するとともに、区ウェブサイトでお知らせします。 ・「窓口混雑予想情報と引越しするときの手続き」を簡潔にまとめたものを6言語に翻訳し、庁舎内に掲示するとともに、区ウェブサイトでお知らせします。			
実績 (令和5年度)	・多文化共生推進に関する事業への参加者 246人 ・「名古屋転入ウェルカムキット」を8言語で実施 ・「窓口混雑予想情報と引越しするときの手続き」を6言語で実施			

外国人向け子育て支援事業【再掲：施策8】		将ビ	予算	拡充	保健予防課 民生子ども課
取組内容 (令和6年度)	施策8に同じ				
実績 (令和5年度)	施策8に同じ				

多言語通訳者の配置【再掲：施策16】		将ビ	予算	企画経理課
取組内容 (令和6年度)	施策16に同じ			
実績 (令和5年度)	施策16に同じ			